



福音讃美歌ジャーナル

福音讃美歌協会

新しい歌を
主に歌え

■巻頭言■

福音讃美歌協会理事 鎌田雅人（鶴ヶ島聖書教会牧師）

「また、歌うたいであるレビ人全員も・・・まるでひとりででもあるかのよう一致して歌声を響かせ、主を賛美し、ほめたたえた。・・・さまざまの楽器をかなでて声をあげ・・・主に向かって賛美した。そのとき、その宮、すなわち主の宮は雲で満ちた」 歴代誌 第二 5章13-14節

福音讃美歌協会の目的は、キリスト教会における会衆讃美の振興に寄与することです。そのための事業として、規約には4つのことが記されています。

第1は、会衆讃美に関する情報の収集と諸教会への提供。

第2は、会衆讃美振興のための出版・啓蒙活動。

第3は、讃美歌集の編纂とそれに関する事業。

第4は、会衆讃美・教会音楽を巡る神学的課題についての福音主義の見地からの調査研究。

福音讃美歌協会はこのような目的をもって、2005年7月に誕生し、2年が経過いたしました。特定のリーダーの願いや思いによって発足したというよりは、長年にわたる諸教会の祈りの積み重ね、なによりも主の時満ちての誕生ということではないでしょうか。

私は、財務担当理事として、皆様に3つの事をお願いさせていただきます。この福音ジャーナルを教会の掲示板に是非掲示していただきたいのです。皆様の目に留まり、祈っていただきたいのです。福音讃美歌協会の働きを覚えて、賛助会員となっていただきたいのです。教会の場合は、年1万円から、個人の場合は年5千円から、会員となることが可能です。

今号に報告させていただいておりますが、賛助会員は、2007年7月現在で、教会で9件、個人で16件が現状です。このように与えられていることは感謝なことですが、まだまだ、賛助会員がふえていかなければ、協会の活動も、目的を十分果たせないことになります。皆様の賛助会員に加わるという行動が、この協会の目的遂行には、不可欠なことなのです。

まるでひとりででもあるかのように一致して歌声を響かせ、主を賛美し、ほめたたえましょう。そのためにも、益々、皆様の祈りをお願いいたします。

ともに「主に向かって賛美した。そのとき、その宮、すなわち主の宮は雲で満ちた」。神の栄光が満ち満ちて、現されることをただ願いつつ心からお願い致します。

■福音讃美歌協会 ■ 第 2 回 ■ 定期総会報告 ■

日時：2007年7月16日（月）

場所：日本同盟基督教団 世田谷中央教会

※2006年度の事業報告、理事会報告及び委員会活動報告、決算報告が審議、承認されました。

※2007年度の事業計画及び事業予定案、予算案が審議、承認されました。

2007年度の事業計画

- A. 他教派とのコンタクト
- B. 協会の働きを進める上での理念の整理
- C. 讃美歌集の編纂作業
- D. 法人化に向けての準備
- E. 教会音楽奉仕者への啓蒙
- F. 会員の拡大
その他

予算案については、本号
7頁をご覧ください。

※理事及び監事の改選が行われました。

福音讃美歌協会理事・監事・事務主事

理事長	安藤能成	（日本同盟基督教団）	渉外
副理事長	林 桂司	（日本福音キリスト教会連合）	渉外・神学委員会
理 事	山田洋一	（日本同盟基督教団）	書記・企画
理 事	鎌田雅人	（日本福音キリスト教会連合）	財務・事務局
理 事	井上 義	（日本同盟基督教団）	讃美歌委員会
理 事	中山信児	（日本福音キリスト教会連合）	法人・広報

監 事	池田勇人	（日本同盟基督教団）
監 事	奥田健一	（日本福音キリスト教会連合）

事務主事 小林由貴子

讃美歌委員会

委員長	井上 義	（日本同盟基督教団）
書 記	中山信児	（日本福音キリスト教会連合）
会 計	土井康司	（日本同盟基督教団）
	植木紀夫	（日本福音キリスト教会連合）
	斎藤一誠	（日本福音キリスト教会連合）

※ 総会を終えて ※

理事長 安藤能成

会員のみなさまには、いつもお祈りとご支援をいただいておりますことを感謝申し上げます。去る7月16日に福音讃美歌協会第2回総会を開催することができました。審議事項については、ほぼ原案どおり決議するにいたりしました。現在の活動は「教会音楽セミナー」の開催、「福音讃美歌ジャーナル」の発行などを行っておりますが、讃美歌委員会の新しい讃美歌集への技術的な取り組みも軌道に乗ってまいりました。今後、早急に取り組む課題として、法人化に向けての作業と会員数の拡大があります。つづけてお祈りくださいますようお願い申し上げます。

今回は理事改選をも含む総会でしたが、定数6人中2名の理事が入れ代わりしました。今まで役目を果たしてくださった方々に感謝するとともに、新理事として就任された方々には新しい力を発揮していただきたいと思います。小生は理事長に再選されましたので、残る2年間の務めを果たさせていただく所存です。

また、今まで事務主事として働いてくださった安西仁美氏がご出産のために退職されました。出産の無事をお祈りしたいと思います。代わって小林由貴子氏が引き受けてくださることになり、感謝しております。事務主事の存在なくして福音讃美歌協会の働きは進んでまいりません。この働きのためにも是非、お祈りいただきたいと思います。

.....※ 新任理事挨拶※

今回理事をさせていただくことになりました山田と申します。

突然のご依頼でしたが、礼拝でルカ伝からクレネ人シモンのくだりを語ったばかり。これも「強いられた恵み」と、自らに言い聞かせ、喜んでお受けすることといたしました。

他の理事の方々のような、礼拝学の専門の知識や秀でた音楽体験はありませんが、地方の一教会の牧師の立場で、今、教会に必要とされている礼拝音楽の姿をご一緒に求めさせていただきたいと願っています。

山田洋一

取手聖書教会（日本同盟基督教団）牧師

この働きには創立準備の段階から関わらせていただいておりますが、理事としては初めて奉仕させていただきます。

法人取得も含め、制度面で一層の充実を図ることは、今期理事会の大切な課題の一つですが、理事として主にその方面で力を尽くしたいと思っています。

また、広報面ではジャーナル編集体制の整備と、インターネットの活用も大切な課題です。ふさわしい人材が備えられて、よりよい形で情報を皆様にお届けすることができるよう、お祈りいただければ感謝です。

中山信晃

菅生キリスト教会（日本福音キリスト教会連合）牧師

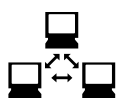
✧ 讃美歌委員会から ✧



讃美歌委員会では、現在、200曲規模の讃美歌集の編纂作業を進めています。昨年、その讃美歌集についての編纂方針がほぼまとまり（「讃美歌ジャーナル3号」を参照）、現在はその方針に則って個々の讃美歌の評価検討、取捨選択を行っている段階です。定例の讃美歌委員会は、月に一回のペースで行われています。



今春は、讃美歌委員会に讃美歌集編纂の実務経験者や、聖書学の専門家をお招きして研鑽の時を持つ機会が与えられました。編纂方針がまとまったとは言え、讃美歌集編纂から発行に至るプロセスには、実務的なことから神学的なことまで、考えなければならない様々な課題が残っています。日本語聖書と讃美歌歌詞の関係もその一つです。



5月には、土井委員の発案によって、検討課題曲をインターネットを介して各委員が参照、評価し、コメントを書き込めるシステムが作られました。このシステムが十分活用されるなら、作業効率が飛躍的にあがることが期待されます。現在、新作を中心に約50曲がアップロードされており、曲数も継続的に増えています。



8月28-29日に、奥多摩バイブルシャレーにおいて、初の一泊讃美歌委員会が行われました。各委員が、新作や旧作、諸教会や兄弟姉妹から提供された作品を持ち寄り、それら一曲一曲を、楽譜からだけでなく、実際に聴き、歌いながら評価検討いたしました。まとまった数の曲を集中して評価検討するために、今後も定期的に一泊讃美歌委員会を開く予定です。



讃美歌委員会では、讃美歌をことばや音楽の面から評価検討していますが、その神学的な内容をチェックをするのは神学委員の働きになります。現在は、神学担当理事の林師を交えた讃美歌委員会の中で、神学的な吟味もしていますが、次の段階として、ふさわしい人材による神学委員会の設置に取り組もうとしています。

讃美歌委員会書記・中山信児

◇第5回◇福音讃美歌協会◇教会音楽セミナー報告◇

❦ 新しい会衆讃美文化の創造 ❦

2007年6月22日【金】 19:00-20:30 ■於：東京キリスト教学園チャペル ■参加者119名

第5回教会音楽セミナーが、東京キリスト教学園を会場として6月22日（金）に開催されました。天田繁先生（東京基督大学特認教授）による講演に、東京キリスト教学園クワイアによる合唱の演奏を交え、学園のチャペルに賛美の歌声が響き渡ったセミナーとなりました。

「新しい会衆讃美文化の創造」の題のもと、まず3曲の合唱演奏と共にセミナーは始まりました。講演者である天田先生作曲の『キリストの愛、我に迫れり』、ヘンデルのメサイアより『見よ、神の栄光は血にあらわれ』と『ハレルヤ』です。

天田先生の講演では、「会衆が歌う」ことにまつわる様々な課題を具体的に提示してくださいました。会衆賛美と音量・テンポ・調の問題、そのような中から歌う者と奏でる者の共に捧げる霊的供え物としての賛美について、「会衆賛美の科学」として語られました。また「共に歌う」ことそのものを文化として捉え、励ましていく営みとしての視点を語ってくださいました。諸教会におけるご奉仕の現場で、様々なレスポンスにに応じてこられる中で積まれたご経験が語らせてくださっているように感じる内容でした。「会衆が歌う」営みにおいては「奉仕者自身」も「会衆」の一員。天田先生の講演にその奉仕者としての後ろ姿を見させていただく想いでした。

講演と演奏の最後は、学園クワイアが会衆の中に入って、共に「ハモって」賛美する時となりました。天田先生作曲の『天地たたえよ』をクワイアのリードで会衆が共に歌いました。主が喜んでくださる、そのことだけに共に想いをはせる、そんな瞬間でした。

今回のセミナーでご奉仕いただいた天田繁先生と東京キリスト教学園クワイアの皆様、そしてセミナーの企画に多大なご協力をいただきました東京キリスト教学園と関係の皆様に改めて心より感謝いたします。

さて、福音讃美歌協会主催の教会音楽セミナーは、これまで札幌セミナーを除いては都内の教会を会場に開催してまいりましたが、その意味で今回のセミナーは新しいものでもありました。言わば『教会音楽千葉セミナー』とも言えるべき地域性を持ったものであり、千葉の諸教会や学園関係の皆様など、地域から多くの方が参加して下さったことに励まされています。

今後も、セミナーが、地域教会との出会いの場としても用いられることを願っております。皆様のご支援とお祈りをよろしくお願いいたします。

企画担当 植木紀夫

❖ INFORMATION ❖

♪ 理事、讃美歌委員をお招きください

福音讃美歌協会の理事、讃美歌委員を、教会の諸集会にお招きください。讃美についてのみことばの学び、实际的な研修や講習などに、ぜひお役立てください。また、福音讃美歌協会の働きについて紹介と報告をさせていただければ感謝です。

例えば、

- ・礼拝メッセージに
- ・祈祷会や諸集会に
- ・讃美についての学びに
- ・音楽講習会に
- ・近隣教会の合同研修会に



- ・奉仕謝礼は、全て福音讃美歌協会への献金として受け取らせていただきます。
- ・まず、日程と内容について、担当理事までご希望をお知らせください。当方で奉仕者を調整の上、改めてご連絡させていただきます。
- ・但し、日程、内容によっては、ご希望に添えない場合がありますことを、あらかじめご了承ください。

■お問い合わせ・ご連絡先

担当理事：中山信児 TEL&FAX 044-977-8053 sugao-ch@nyc.odn.ne.jp

♪ 中京地区・教会音楽セミナー

日程 2008年 2月18日 (月)

場所 金山キリスト教会 (同盟福音基督教会)

愛知県名古屋市中区金山2-1-3

主催：福音讃美歌協会



■準備委員会

三川献児師	名古屋福音伝道教会	(日本同盟基督教団)
安西幸男師	揖斐キリスト教会	(日本福音キリスト教会連合)
山本陽一郎師	多治見中央キリスト教会	(日本同盟基督教団)
羽鳥頼和師	自由ヶ丘キリスト教会	(日本福音キリスト教会連合)

※※詳細は後ほどお知らせいたします※※

＊会計報告＊

■収入の部■

科 目	2007年度予算案	2007年4-8月実績
会員負担金	1,000,000	130,000
正会員	500,000	0
準会員	60,000	0
賛助会員	440,000	130,000
自由献金	100,000	171,649
その他	0	49
当年度収入合計 (A)	1,100,000	301,698
前年度繰越金	336,363	336,363
収入合計 (B)	1,436,363	638,061

■支出の部■

科 目	2007年度予算案	2007年4-8月実績
理事会費	101,500	13,420
委員会費	185,000	32,460
人件費	240,000	100,000
事務費	184,000	48,016
ジャーナル発行費	228,000	97,330
カンファレンス開催費	141,000	69,180
総会開催費	31,000	17,068
予備費	89,500	
当年度支出合計 (C)	1,200,000	377,474
当年度収支差額 (A) - (C)	-100,000	-75,776
繰越額／残高 (B) - (C)	236,363	260,587

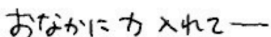
【賛助会費納入者】 (2007年4-8月)

世田谷中央教会、菅生キリスト教会、青梅キリスト教会、鶴ヶ島聖書教会、
栄福音キリスト教会、大島章義、岡山敦彦、神谷聰子、辻善男、村松容子、
石川岩夫、刑部照美、高橋和江

【献金者】 (2007年4-8月)

こどもの国キリスト教会、武蔵台キリスト福音教会、菅生キリスト教会、
斎藤眞木子、村松容子、高橋和江、匿名希望、セミナー席上献金

by yukinko



ふん(ふ)2-

はあ

自 己

つかない

↑「ね」に「あ」か、て

うた、なるの？

h?

そうす

かみさま

だった。

◇会員の種別は、以下の三種類です。

正会員（教会・教団・教派等）

準会員（超教派団体・グループ等）

賛助会員（趣旨に賛同し支援してくださる教会、個人等）

▽賛助会員のお申し込みは、入会申込書をご請求いただき、必要事項をご記入の上、郵送またはFAXでお送りください。承認後、年会費のお振込みにより入会が完了致します。

▽正会員、準会員のお申し込みにつきましては、協会へ直接お問い合わせください。入会のしおりを郵送致します。

番号00220-1-95127

名称 福音讚美歌協會

番号10500-82654721

名称 福音讚美歌協會

みずほ銀行ユーカリが丘支店

普通預金口座番号 1604668

名称 福音讚美歌協會

編集後記

とはいえ、成すべきことのみ多く、時間も能力も多し。い現実の中で、主がお許しくださるなら、ひとつでも実現させていただきたいというのが、今の私の偽らざる気持ちです。(な)

具体的には、讚美歌委員会で検討している新曲の紹介や、讚美についての小論や書評の掲載、投稿についてのガイドラインの整備などです。

二つめは、諸教会の讃美
についての取り組みに役立
つ情報を載せること。
三つめは、諸教会からの
声に誌面を割くこと。

一つめは、福音讃美歌協会の活動をより良くお伝えすること。

ジャーナルの編集に携わるのは創刊準備号以来ですが、再び編集の責任を負うに当たって、次の三つのことを編集の指針にしたいと思います。

福音讃美歌協会の歩みも3年目に入り、ジャーナルも第5号となりました。

福音讚美歌協會 (JEACS)

〒154-0015 東京都世田谷区桜新町 1-14-22

TEL 03-3428-2388 FAX 03-3428-2380

世田谷中央教会内

E-mail: fsk@hymnos.org